



上 原 一 慶 教 授

上原 一慶 教授 略歴・著作目録

1943年 8月 7日 東京都新宿区生まれ

学 歴

- 1962年 3月 東京都立戸山高等学校卒業
- 1963年 4月 東京大学教養学部文科 III 類入学。
- 1967年 3月 東京大学教養学部国際関係論卒業
- 1970年 3月 東京大学社会学系大学院国際関係
専門課程修士課程修了
- 1973年 3月 同上 博士課程単位取得
- 1975年 3月 同上 退学

職 歴

- 1974年 4月 駒沢大学経済学部専任講師（中国経済論）
- 1976年 4月 同上 助教授
- 1981年 11月 京都大学経済研究所助教授（比較経済研究部門）
- 1987年 8月 同上 教授
- 2007年 3月 同上 定年退職 京都大学名誉教授
- 2007年 4月 大阪商業大学経済学部教授（中国経済論）
- 2008年 4月 大阪商業大学比較地域研究所所長

学 位

- 1970年 3月 東京大学国際学修士
- 1988年 5月 京都大学経済学博士

在外研究

1984年 11月 - 1985年 8月 文部省在外研究員として上海社会科学院に留学

所属学会（順不同）

日本現代中国学会 中国経営管理学会 アジア政経学会 日本比較経営学会
比較経済体制学会 社会主義理論学会 中国現代史研究会 東アジア地域研究会
比較経済体制研究会

著作目録

【著書】

- 『中国社会主義の研究』（単著）日中出版，1978年
- 『中国現代史（下巻）』（姫田光義、阿部治平、高橋孝助、前田利明との共編著）東京大学出版会、1982年
- 『中国の経済発展政策の課題 財政、対外開放、環境政策を中心に』（宮崎義一、杉本昭七、丸山伸郎、植田和弘との共編著）京都大学経済研究所、1984年
- 『経済体制改革下の中国企業 企業調査資料集』（編著）京都大学経済研究所（KIER8601）、1986年
- 『中国の経済改革と開放政策 開放体制下の社会主義』（単著）青木書店、1987年
- 『東アジア近現代史』（桐山昇、高橋孝助、林哲との共編著）有斐閣、1990年
- 『中国の経済改革の実態と課題 上海を中心に』（朱金海、陳建平との共編著）京都大学経済研究（KIER9203）、1992年
- 『現代中国の変革 社会主義システムの形成と変容』（編著）世界思想社、1994年
- 『中国近代化の歴史と展望 20世紀中国と日本（下巻）』（池田誠、安井三吉との共編著）法律文化社、1996年
- 『中国経済論』（加藤弘之との共編著）ミネルヴァ書房、2004年
- 『躍動する中国と回復するロシア 体制転換の実像と理論を探る』（編著）高菅出版、2005年
- 『民衆にとっての社会主義 失業問題からみた中国の過去、現在、そして行方』（単著）青木書店、2009年
- 『現代中国経済論』（加藤弘之との共編著）ミネルヴァ書房、2011年

【論文】

- 「文化大革命の再検討」（共著）『現代と思想』8、青木書店、1972年6月
- 「戦後初期における中国共産党の基本方針の再検討」『歴史学研究』386号、1972年8月
- 「中国の社会主義的民主主義に関する一考察 大躍進期における両参制の再検討」『中国研究』No.34、1973年3月
- 「大躍進期における大衆運動 労働者の企業管理への直接参加を中心として」『歴史における民族と民主主義（1973年度歴史学研究大会報告）』青木書店、1973年11月
- 「大躍進期の経済」『中国大躍進政策の展開（下巻）』日本国際問題研究所、1974年3月
- 「大躍進期における中国労働者階級 いわゆる臨時工の存在形態を中心に」『経済論叢（駒沢大学）』8巻1号、1976年4月
- 「現代中国の経済体制と文革の論理」『現代と思想』28、1977年6月
- 「中国共産党の政権構想」『中国近現代史』第7巻、東京大学出版会、1978年9月

- 「中国社会主義の到達点と課題」『講座 今日の日資本主義』大月書店、1981年9月
- 「社会主義研究の方法に関する一考察」京都大学経済研究所（ディスカッション・ペーパー、KIER8205）1983年3月
- 「社会主義と資本主義 社会主義の対外開放政策」杉本昭七、関下稔、藤原貞雄、松村文武編『現代世界をとらえる』東洋経済新報社、1987年1月
- 「中国の現状から『社会主義』を考える」『近きに在りて』18号、1990年11月
- 「経済システムと工業化」丸山伸郎編『中国の工業化 揺れ動く市場化路線』アジア経済研究所、1991年3月
- 「システム転換と地方分権的・混合的システムの形成 中国」『社会主義経済学会会報』第28号、1992年3月
- 「社会主義の崩壊と中国」杉本昭七編著『現代世界経済の転換と融合』同文館、1993年7月
- 「中国における企業改革」田中雄三編『脱社会主義経済の現状』（龍谷大学社会科学研究所叢書 XXIII）リベルタ出版、1994年3月
- 「社会主義の崩壊と今後の課題 いくつかの問題提起」『歴史評論』No.534、1994年10月
- 「『解放』から『開放』へ 中華人民共和国下の上海」（二一五）高橋孝助、古厩忠夫編『上海市 巨大都市の形成と人々の営み』東方書店、1995年5月
- 「内陸開発政策の現状と課題 中国内陸視察団・報告」『内陸開発政策の現状と課題 中国内陸視察団派遣報告』日中経済協会、1995年12月
- 「中国の国有企業改革 現状と展望」佐々木信彰編『現代中国経済の分析』世界思想社、1997年7月
- 「所有制構造改革と国有企業改革のゆくえ」愛知大学現代中国学会『中国21』臨時増刊号、1998年6月（「所有制機構改革と国有企業改革の前景」『中国21 1999』中国社会科学出版社）
- 「国有企業改革の現状と展望」『中国国有企業改革研究会報告書「中国の国有企業改革の現状と日本の協力」』日中経済協会、1999年3月（「中国国有企業改革の現状と展望」『中国現段階経済分析 来自日本の観察と評価』吉林人民出版社、1999年）
- 「中国の中小企業振興政策の現状と課題」『日中経協ジャーナル』No.67、1999年6月
- 「国有企業改革と労働者」中兼和津次編『中国の構造変動2 経済 構造変動と市場化』東京大学出版会、2000年
- 「中国における市場経済化の進展と国有企業改革」林昭、門脇延行、酒井正三郎編著『体制転換と企業経営』ミネルヴァ書房、2001年5月
- 「中国の経済発展は脅威かチャンスか」日中経済協会編『対中ビジネスの経営戦略（中堅、中小企業への提言）』蒼蒼社、2003年6月

- 「持続的成長の中国経済 不安定な大国化の可能性」『東亜』 No.474、2006年12月
- 「共同研究調査概要報告 2006年中国労働関係調査（北京・瀋陽・丹陽）」（共著）『経営経済』（大阪経済大学中小企業経営研究所）第43号、2007年12月
- 「発展する中国経済と非正規就業の増大（特集 企業の社会的責任と労働）」『比較経営研究』 第32号、2008年3月
- 「中国〈社会主義〉の体制転換 何から何への〈転換〉か」『ロシア・ユーラシア経済』 No.928、2009年11-12月